

■保科(五無齋)百助
ほしなひやくすけ
明治維新・・1868 =

教育家。正義感のかたまりで、実行力もあった、長野県教育史上奇人として最も有名。

長野県北佐久郡横鳥村で生まれる。

明治6年政変 1873 = 5歳：

西南戦争・・1877 = 9歳：

明治14年政変1881 = 13歳：

帝国大学始・1886 = 18歳：

帝国憲法発布1889 = 21歳：

足尾鉾毒始・1891 = 23歳：_長野師範学校を最下位で卒業。

県内各地の小学校を転々とした後、

日清戦争始・1894 = 26歳：

日清戦争終・1895 = 27歳：_小県郡武石小学校の教諭兼校長になる。

もともと博物採集好きで、武石の山に珍しい鉱物があるのを知ると、中央学界に報告、東大教授神保小虎らから賞賛され、県内鉱物採集に病みつきになる一方、実業教育振興にも力を入れ、自ら蜜蜂を飼って養蜂技術を研究したり、{信濃教育会}で機織りや染織技術の講習会開催の先頭に立つ。

Bushidou・・1899 = 31歳：

_上水内郡大豆島小学校校長に就任すると、近くに分校らしきものがあり、被差別部落の子供らが入れられていることを知って憤慨、反対する村民らを説得するなどして、本校に合併してしまう。県の視学官らを公然と非難して嫌われるになるが、県教育界の"変人"渡辺敏に庇われる。以後、渡辺には"日本一の小学校長"の敬称をつける。

じゝアノ国産化・1900 = 32歳：

故郷北佐久郡蓼科組合高等小学校と同実業補習学校の訓導兼校長に転じるが、

田中正造直訴1901 = 33歳：

*義務期間10年が過ぎるや、新聞広告を出して、退職。学務課の支配を脱し、自由に活動するようになる。

教科書疑獄・1902 = 34歳：

自分を嫌う土谷政吉が長野高女教頭になると聞いて反対するも、かえって親交。以後、五無齋と称する。

日露戦争始・1904 = 36歳：

*学費に恵まれない子らのためにと、{保科塾}を開く。この際、藤森良蔵が無報酬で協力。

日露戦争終・1905 = 37歳：

*塾を解散。教育界の実情を知るべく、筆墨の行商人となって、県内を巡回。

満鉄発足・・1906 = 38歳：

アララギ'創刊・1908 = 40歳：

ジャーナリスト牛山清四郎と、週刊新聞{信濃公論}を創刊。紙上で、"教育宗総本山管長保科百助"の名で"訓令教第○号"を発令、民間視学官の夢を示す。

その後、鉱物標本作成事業を始め、大八車を引いて、売歩くうち、

大逆事件判決1911 = 43歳：

*過労のため倒れ、生涯独身のまま、没した。遺族も無いため、渡辺が死後の面倒を見た。

板倉聖宣「かわりだねの科学者たち」、